

第1回ねじ部長さ J I S 改正原案作成委員会議事録（案）

1. 日 時：平成25年7月24日（水） 14：00～16：55
2. 場 所：機械振興会館B3－7号室
3. 出席者（順不同・敬称略）

氏 名	所 属	氏 名	所 属
賀勢 晋司	元信州大学（委員長）	簡野 裕行	日産自動車（株）
武藤 治	メイラ（株）（幹事）	今西 武史	（株）イマニシ
大橋 宣俊	元湘南工科大学	木田 秀樹	（株）互省製作所
根本 俊雄	元東京大学	大磯 義和	日本ねじ研究協会
松井 洋二	経済産業省	中林 賢司	日本ねじ研究協会
朝山 恒男	（一財）日本規格協会		

4. 配付資料

- 資料1 実施計画（案）
- 資料2 ねじ部長さ J I S 改正原案作成委員会名簿
- 資料3 JIS B 1009:1991 現行規格
- 資料4 ISO 888:2012 (Fasteners -- Bolts, screws and studs -- Nominal lengths and thread lengths)
- 資料5 ISO 888:1976 (Bolts, screws and studs -- Nominal lengths and thread lengths for general purpose bolts)
- 資料6 おねじ部品一呼び長さ及びねじ部長さ（賀勢'13-07-06）
- 資料7 JIS B 1009 改正一次案

5. 議事

5.1 委員長及び幹事の互選

出席委員の自己紹介の後、委員長及び幹事の互選を行い、委員長に賀勢委員を、幹事に武藤委員をそれぞれ選出した。

5.2 実施計画案の説明

事務局から、資料1の実施計画案について説明があり、以下の方針で原案作成を行うことが確認された。

①JIS B1009の対応国際規格であるISO 888が、2012年に改正されたことに伴いJISとの整合を図るため改正する。

主な改正点は、

- ・止めねじの追加、植込みボルトの図の追加、ねじ部長さの表形式の変更及び引用規格の追加と量記号の追加。

②審議回数は、3回程度とする。

5.3 JIS B 1009 改正一次案（資料7）の審議

- 1) 規格名称
 - ・“締結用部品一”を前に追加する。
- 2) 1 適用範囲
 - ・本文の1行目の“適切な製品規格及び例えば製品図面のような関連文書”箇所は分かりにくいので文書を再検討する。
 - ・本文1行目の“ボルト、小ねじ及び植込みボルト”を“おねじ部品”に修正する。
 - ・本文3行目の書き出しを“この規格は、”とする。
- 3) 2 引用規格
 - ・JIS B 0143の規格名称を“締結用部品一ねじ部品の寸法の記号及び意味”に修正する。
- 4) 3 記号及び意味
 - ・ I を“(おねじ部品の)呼び長さ”に修正する。
 - ・ I_g を“円筒部長さ (JIS B 0143 参照)”に修正する。
 - ・ I_s を“ねじ部がない円筒部の長さ (JIS B 0143 参照)”に修正する。
- 5) 4.1 一般
 - ・本文下から1行目、文中の“通常”を削除する。また、“呼び長さ”を“呼び長さ I ”に修正し、以降、文中に出てくる“呼び長さ”は“呼び長さ I ”に修正する。
- 6) 4.2 ボルト及び小ねじ
 - ・図1のタイトルの下2行目“の距離”を削除する。
 - ・3頁上から2行目“の距離”を削除する。
 - ・図3のタイトルの下1行目“中くぼみの”を“傘形の”に修正する。また、2行目“の距離”を削除する。
 - ・図4のタイトルを“傘形の座面をもつボルト及び小ねじの呼び長さ”に修正する。
- 7) 4.3 止めねじ
 - ・図7の寸法記号を“ $I(= b)$ ”に修正する。
- 8) 4.4 植込みボルト及び類似のねじ部品
 - ・図8のタイトルの1行目“/”を“で”に修正する。また、3行目の“/”を“又は”に修正する。
 - ・図11及び図12の寸法記号を“ $I(= b)$ ”に修正する。
 - ・図10及び図11のタイトルは、誤解のないようなタイトルとするため再検討する。
- 6 その他
 - 1) 今後の進め方
 - ・次回は、今回の続きを審議する。
 - ・図10及び図11のタイトルについて、よい案があれば事務局まで提出すること。
 - 2) 次回の委員会開催予定

次回の委員会の開催日時を平成25年10月2日(水)の14時からとした。

以上